

特集

令和6年菊川市こども議会を開催しました

令和6年度のこども議会が、夏休みの5日間を利用して開催されました。

今回のこども議会には、中学2年生2名、小学6年生3名、5年生5名、4年生3名、3年生2名の合計15名のこども議員が参加しました。

それぞれの学校での経験や視点を持ち寄り、活気に満ちた議論を展開することが期待されました。

〈1日目 議会について説明〉

初日の7月26日、こども議員たちは菊川市議会についての説明を受けるため、スライドやクイズを通じて楽しく学びました。自己紹介の際には、元気な声が会場に響き渡り、各自の個性が際立ちました。その後、参加者は4つの班に分かれ、作業が本格的に始まりました。各班では、こども議員たちがじっくりと真剣に取り組むテーマを選定し、テーマが決まったこども議員は早速、担当の議員と同行して関連する部や課に向かい、熱心に質問を重ねていきました。

〈2～4日目 提言書作成〉

続く7月30日、8月5日、8月8日の3日間、こども議員たちは選んだテーマを深めるために、各部署を何度も訪れました。担当職員からの説明を一生懸命にメモしながら、こども議員たちは様々な視点から考えを巡らせ、自らの提言書をまとめ上げていきました。特に8月5日には、ほとんどのこども議員が提言をほぼ完成させ、緊張感の中で読み上げの練習を始めました。この練習は、提言をより効果的に伝えるための重要なステップとなりました。

〈5日目 議場で発表〉

そして、いよいよ本番の8月19日が訪れました。この日は傍聴者も多数見守る中、こども議会が開催されました。4つの班からそれぞれ1名ずつ議長が選出され、15名のこども議員が自らの提言を堂々と発表しました。彼らの提言には、大人では考えつかない斬新なアイデアが随所に盛り込まれており、さまざまな見応えのある議会となりました。こども議会は大成のうちに閉会し、参加者たち

の表情には達成感が漂っていました。
終わった後の感想

閉会後のアンケートでは、5日間の期間について「ちょうど良かった」「短かった」という意見が寄せられました。

一人ひとりが充実した5日間を過ごしていただいたことで、こども議会の意義を再確認する機会となりました。この経験は、彼らの成長にとって貴重な財産となることでしょう。

この経験を通してこども議員みなさんの成長を願うと共に、菊川市議会がより市民のみなさんに寄りそい、住み良い市にしていきたいと思えます。



当日の発表は
上記QRコードから
映像配信ページへ



こども議員、傍聴者へのアンケート調査は上記QRコードから
ホームページへ